

(別紙様式2)

平成30年 9月26日

高松市教育委員会  
保健体育課長 殿

学校名 高松市立牟礼小学校  
校長名 田 崎 伸 一 郎

公印  
省略

## 平成30年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、標記事業を実施したので、報告します。

学 校 の 名 称	高松市立牟礼小学校
派 遣 内 容	急な大雨・雷・竜巻から身を守る
日 時	平成30年 9月25日 ( 火 ) 13:50 ~15:30
場 所	高松市立牟礼小学校 4年2組教室
対 象 者 数 参 加 人 数	児童数 55名 クラス数 2クラス 教職員 2名 その他 0名
内 容 ・ 日 程 等	① 講話 45分 気象台の仕事、大雨による災害と災害から身を守るために行うこと ② ミニワークショップ 45分 急な大雨・竜巻から身を守るにはどうすればよいか、映像を視聴して、自分の考えをもちその後グループで話し合う。
取 組 に お け る 成 果	① 講話から 災害について地震ばかりに子どもの意識がいていたが、実際の映像を視聴したことで、大雨や雷などの危険性に気付くことができた。気象情報も注意して見ないといけないという気持ちを強くした。 ② ミニワークショップから 積乱雲の発生や急な大雨が降ったときに、子どもたちに迫る危険な場面の映像を見ながらどのような行動をとれば危険を回避できるかを考えた。自分の考えを友だちと交流することで自分の命を守る方法について再確認した。解説映像を視聴することで雷の怖さや流れる水の恐ろしさにも気付くことができた。
今 後 の 課 題	特になし

注) 当日の写真、資料等がありましたら、添付してください。

## 1 講話を聞きながら



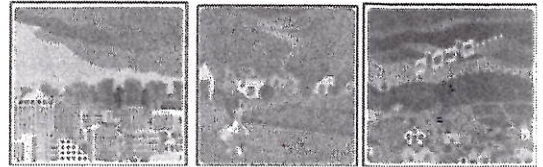
## 2 ワークショップ (グループ交流)



DVD「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」

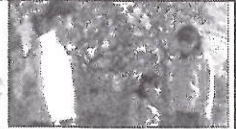
これはあぶない！をみて

名前



質問1：なぜ、危険に巻き込まれてしまったのでしょうか？

公園で遊んでいた女の子たち

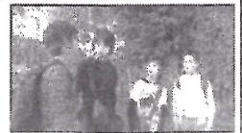


雷が遠いからといって、すぐにたて物の中、にげていな

かたから、

ⓧ 風が強くなったり雷がなっても家に帰らなかつたから。

川の近くでいた男の子たち(橋の下・塾へ行く道)



橋の下は、雨がふって川の水があふれたから

じゃくに行道は水が流れてきて川にまだあさりからといって行つたけれど

下が見えなくて下水に落ちてしまうかもしれない。

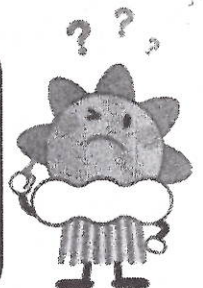
質問2：「急な大雨」「雷」「竜巻」にあうとすれば、

自分ならどのようにして身を守りますか？

公園で遊んでいたら近くの家のやねの下にひなんして、もし川の  
近くにいたら川からはなれて、もし川の水があふれてきて道が見えな  
かたら高い戸所へ、行ってそこでたります。

解説編を見て感想を書いてください。

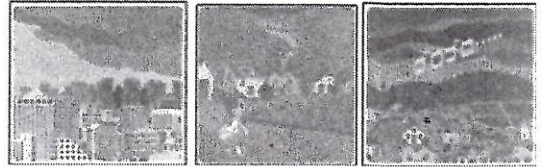
感想： ひなんをする場所をおうちの人に知らせたり、  
たつまきの風はとて強いということが分かりました。



DVD「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」

これはあぶない！をみて

名前

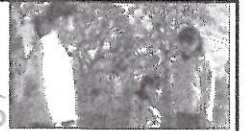


質問1：なぜ、危険に巻き込まれてしまったのでしょうか？

【公園で遊んでいた女の子たち】

木の下にいたから、(高い所にかみ<sup>な</sup>りはお  
ちる。)

家にかえっていなかった。



【川の近くでいた男の子たち(橋の下・塾へ行く道)】

川のそばにいたから、(川の水があか  
る。)

お母さんなどにたすけをもとめる。ひなんする。



質問2：「急な大雨」「雷」「竜巻」にあうとすれば、

自分ならどのようにして身を守りますか？

木のそばや川のそばにちかよらない。水が  
足くらいまでできていたら、ぼうなどでもわり  
をかくにんしながら。K。マンホールのなどか  
あいていたら、いけなから。

解説編を見て感想を書いてください。

感想：

自分は、だいじょうぶだと思  
わなくて、早く行こうすることかた  
いし、せつなことがわかりました(命は)

自分で守る

